

授業科目 日常生活活動学実習

【担当教員名】 大山峰生	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：G I O】
日常生活活動(ADL)および生活関連活動(APDL)に関連する基礎的・応用的技法について習得する。

- 【行動目標：S B O】
1. 基本動作の特徴を分析することができる。
 2. ADL評価を的確にできる。
 3. ADLプログラムを適切に立案することができる。
 4. 代表的疾患に特有なADLプログラムを施行することができる。
 5. 福祉用具を適切に選択し、実践することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ADL動作分析1	1	実習 大山
2	ADL動作分析2	1	実習 大山
3	ADL評価	2	実習 大山
4	ADLプログラム立案	3	実習 大山
5	片麻痺のADL1	4	実習 大山
6	片麻痺のADL2	4	実習 大山
7	脊損のADL 1	4	実習 大山
8	脊損のADL2	4	実習 大山
9	RAのADL1	4	実習 大山
10	RAのADL2	4	実習 大山
11	その他の疾患のADL1	4	実習 大山
12	その他の疾患のADL2	4	実習 大山
13	福祉用具1	5	実習 大山
14	福祉用具2	5	実習 大山

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	日常生活活動(動作)	土屋弘吉、他	日本医師薬出版	2002年 6650円
	ADLとその周辺	伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院	1999年 5900円
参考書				
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席、期末試験	【履修上の留意点】 動きやすい服装で参加すること。
-------------------	------------------------------